

令和4年度 年間指導計画及び具体的な評価の方法	2年 社会科（地理的分野）	観点別学習状況 評価の観点	観点番号
		知識・技能	1
		思考・判断・表現	2
		主体的に学習に取り組む態度	3

月	指導事項区分		配 当 時 間	指導内容 主な評価規準	観点 番号	具体的な評価の方法
	単元	節				
4月	日本の地域的特色		7	<<指導内容>> 日本の自然環境や人口、産業の特色を理解し、現状や変化、人々の生活に及ぼす影響、課題を考える。 <<主な評価規準>> ①「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解させる。 ①日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けさせる。 ②「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	① ② ③	①社会科における基礎的・基本的な知識・理解が定着しているか、また、資料を活用して理解できているかを、テスト等を活用して評価する。 （単元テスト等） ②社会的事象に対して、自分の考え方をまとめられるかを、テスト等を活用して評価する。 （単元テストや課題等の発表内容等） ③社会的事象に対して、主体的に追究できるかを評価する。 （単元テストや定期試験、課題等への取組の姿勢等）
5月			3	<<指導内容>> ・各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考える。		
6月			3	<<主な評価規準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 ②日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。		
7月			3	① 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
8月			3			
9月			3			
10月			4			
11月						
12月			3	<<指導内容>> 空間的相互依存作用、地域などに関わる視点に着目して、地域の在り方を地域的特色や地域の課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。		
1月			3	<<主な評価規準>> ①地域の実態や課題解決のための取組を理解している。		
2月			3	②地域の在り方を、地域の結びつきや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		
3月			3	③地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		